

(別紙4(2))

事業所名 有限会社 響 グループホームゆらり

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4(3)	「ようやく運営推進会議の開催に至りましたが、今後2ヶ月に1回の運営推進会議の開催に向けて、通信などで参加を呼びかけ関心をもってもらえるよう働きかけてはいかがでしょうか」という御指摘を受けて優先順位1位の課題としました。	ご指摘のとおり、滞りなく会議開催できるように努める。[この項目は、65項目との関連を含めて、目標課題として取り組みたい。]	・ 事業所で発行している「ゆらり新聞」などをおして、委員会の会開催を紹介し、開催後は、会議の内容の概要を伝えとともに、委員以外(利用者の家族さんや地区の住民の方々)からも要望や意見などを募るような取り組みを行う。	2ヶ月
2	58	38項目とも関連して、職員の体制的な都合やその方の都合を優先する事もあるが、出来るだけその方本人のペースで一日を過ごして頂ける様努めているが、達成度は「利用者の1/3くらい」の自己評価にとどまっているという現状(課題)。	現状や課題を踏まえ、「グループホームゆらり」の理念を再確認して、利用者が一人ひとりのペースで暮らせるように支援し介護できるよう努める。	・ 職員の勤務体制に余裕をもたせ、利用者が一人ひとり、ゆとりをもってマイペースで暮らせるよう、きめ細かな介護に当たり、職員一人ひとりのスキルを上げて、更に充実した活動が出来るような取り組みを行う。	6ヶ月
3	60	49項目とも関連して、日常的な外出支援については、出来る限り本人の希望に沿った支援が出来るように家族にも協力してもらいながら取り組んでいる。また身体的機能の低下により、外出が難しくなってきた方についても車椅子を使用したり、身体に負担がかからないような配慮している。	日常的な外出支援については、調査票の文言にあるように、「一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけたり、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるような支援」ができるように努める。	・ これまでの行事(お花見や遠足など)や買い物外出などに加えて、目標の達成を目指し、職員の勤務体制を充実させ、余裕をもたせ、家族との連携を強化しながら、その理解と協力を得て、更に充実した活動が出来るような取り組みを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。